



# 「教育無償化」論議の経緯と特徴 : 2020年第203回 ~2021年第204回の国会審議から

渡部, 昭男

---

**(Citation)**

日本教育学会大会研究発表要項, 80

**(Issue Date)**

2021

**(Resource Type)**

research report

**(Version)**

Version of Record

**(URL)**

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/90008564>



## 「教育無償化」論議の経緯と特徴

—2020 年第 203 回～2021 年第 204 回の国会審議から—

○渡部 昭男（大阪成蹊大学・特別招聘教授）

キーワード：コロナ禍、学びの継続、生活支援、現金給付・現物給付、食糧支援、生理の貧困

### 序. 課題と方法

第 201 回（2020.1.20-6.17）に係る昨年の報告に続いて、本報告では第 203 回（2020.10.26-12.5）及び第 204 回（2021.1.18-6.16）の国会審議における「教育無償化」論議の経緯と特徴を明らかにする。これまで同様に国会会議録検索システム（<https://kokkai.ndl.go.jp/#/>）を用いた。

#### 1. 直近 3 年第 198～204 回における審議の経緯

直近 3 年の審議の経緯（傾向）を、鍵用語をもとに探った（下表）。用語欄の「&」は AND 検索（両方を含む発言がある会議録）、「/」は OR 検索（いずれかを含む発言がある会議録）を示しており、各用語を入れて簡易検索した結果を「○件・○箇所」で記載した（2021.7.1 現在、渡部作成）。その上で、各用語で件数の多かった上位 2 位（ヒット頻度 [件数÷総件数] で補正）までを着色した。

年	会期(月日)	回次	会議録総数(件)	高等教育無償	大学等&修学支援	入学金	学費&減免	学生&コロナ禍	家計急変	困窮学生	学びの継続	学費半額/学費半減	遠隔授業/対面授業	食料支援	生理の貧困
2019	1.28-6.26	198通常	721	35・63	34・424	27・54	37・346	0・0	3・6	0・0	4・6	0・0	2・2	0・0	0・0
	10.4-12.9	200臨時	364	4・6	11・35	2・2	4・18	0・0	0・0	0・0	0・0	0・0	1・1	3・3	0・0
2020	1.20-6.17	201通常	730	16・20	33・175	21・35	40・237	91・724	18・41	10・21	15・33	7・9	31・60	5・6	0・0
	10.26-12.5	203臨時	297	2・3	8・37	2・3	10・43	70・677	4・10	2・3	6・11	0・0	9・30	8・9	0・0
2021	1.18-6.16	204通常	721	4・4	19・83	9・12	19・61	283・2,657	12・14	9・9	11・14	2・2	24・47	18・24	14・27

2019 年の第 198 回（2019.1.28-6.26）には、「高等教育無償」「大学等&修学支援」「入学金」「学費&減免」に示されるように、消費増税分の使途変更に伴う高等教育無償化策として大学等修学支援法案が審議され成立した。2020 年の第 201 回では、大学等修学支援法の施行に係る論議とともに、「学生&コロナ禍」が国会会議録で初ヒットしたように、コロナ禍での「家計急変」への対応や「困窮学生」への「学びの継続」策が論議された。その後の第 203・204 回では、「学生&コロナ禍」が「201 回：91 件（頻度 0.12）・724 箇所」⇒「203：70（0.24）・677」⇒「204：283（0.39）・2,657」というように増加し、大学等修学支援法や学びの継続のための経済的支援・現金給付に加えて鍵用語「食糧支援」「生理の貧困」に象徴される、困窮した学生の日々の生活を支えるための現物給付へとテーマが切迫ないし拡大していることが分かる。以下、三点に絞って述べる。

#### 2. 第 203・204 回国会の特徴①：高等教育無償及び大学等修学支援法に係る論議のその後

大学等修学支援法は、「少子化社会対策大綱や子供の貧困対策に関する大綱に基づき」（204 参・内閣委 18 号 2021.5.13 坂本哲志内閣府特命担当大臣）と説明されるように少子化対策・貧困対策に位置づく。対象の低所得層（大学生等の約 1 割）から中間所得層等への拡大が党派を越えた課題意識となっている。自由民主党は日本型高等教育拠出金制度（J-HECS：授業料等を国が立て替えて卒業後に支払い能力に応じて一定割合を納付する仕組み）案を構想しており、萩生田光一文科大臣も「中間所得層の高等教育費の負担軽減を図る」ものとして注目している（203 参・文教科学委 2 号・2020.11.17 上野道子議員への答弁）。また公明党は「多子世帯や中間所得世帯の教育費の負担に配慮した取組」を求めている（204 衆・本会議 3 号・2021.1.21 石井啓一議員）。現状は「GDP に占める公的財政教育支出の割

合は3.1%・・・38か国中37位・・・低い水準であることは、もうこれは認めなくてはならない」とした上で、「我が国の国際的地位にふさわしい政策を実施するために十分な教育予算を確保する必要がある」と文科大臣は述べている（203参・文教科学委2号・2020.11.17 船後靖彦議員への答弁）。

### 3. 第203・204回国会の特徴②：コロナ禍のもとでの学びの継続のための経済的支援・現金給付

大学等修学支援制度の採用数は、予定の半分に留まったという（2020年度予算：51.4万人分⇒採用者：前期25.7万人、後期プラスアルファ程度／204衆・予算委第四分科会2号・2021.2.26 宮本徹議員）。一方、緊急支援については、一定の成果があったと文科大臣はみている（中退者数が前年度より抑えめ／学校が推薦すべきと判断した全学生約42万人に緊急給付金支給／学生の学びの支援緊急パッケージを2020年12月に改定し無利子奨学金の充実や休学生への対応等の支援策を追加／同上 萩生田文科大臣）。2021年度に向けて立憲民主党・無所属会派と日本共産党はコロナ特別給付金法案（2021.3.1、204衆法4／困窮する低所得世帯や学生等に1人10万円支給）を提出したのに対して、与党・政府は低所得子育て世帯への特別給付金（2021.3.16 関係緊急閣僚会議／対象をひとり親世帯からふたり親を含めた住民税非課税の子育て世帯全体に広げ1人当たり5万円）を決定した。議事録からは、「残念ながら大学生が入っていない」（204衆・文部科学委6号・2021.3.17 下条みつ議員）との指摘、「学生の学びを続ける、学生の暮らしを支える、せめてもう一回」（204参・予算委14号・2021.3.19 蓮舫議員）との訴え、「学生自殺者が約10%も増えている」（204衆・文部科学委7号・2021.3.24 城井崇議員）との注意喚起、などが確認できる。

### 4. 第203・204回国会の特徴③：コロナ禍のもとでの困窮した学生の生活を支える現物給付

コロナ禍の長期化・深刻化に伴って、困窮学生の生活を支える現物給付策が国会審議にも上がってくる。「食糧支援」は途上国、被災地支援などに関わってこれまで言及されてきたが、第201回ではコロナ禍での農業関係者を支援する方策として学生への食糧支援が新たに登場している（未利用食品を政府が引き取って貧困世帯と学生へ届ける仕組み／201衆・予算委27・2020.6.10 森夏枝議員）。第203・204回になると、各大学や民間団体などによる食糧支援の実例が国会でも紹介されている（筑波大学〔食糧支援1.22〕：長蛇の列で3千人分渡したが足りずに後日追加／日本民主青年同盟〔2020年春頃から学生食料支援活動〕：全国45都道府県、8百回以上実施、延べ3万8千人利用／204参・予算委11・2021.3.15 吉良よし子議員）。第204回で初ヒットした「生理の貧困」に係る多様な発言から文教関連を拾うと、学生の2割が金銭的な理由で生理用品購入に苦勞（「#みんなの生理」によるアンケート発表／204衆・文部科学委3・2021.3.10 畑野君枝議員）、NHKの取材に勇気を持って証言した学生の話（204参・文教科学委3・2021.3.16 伊藤孝恵議員）を紹介して文科省等に対応検討を要請し、約束を答弁させている。

### 結. 高等教育における「現金給付+現物給付」策の論議へ

渡部2017「漸進的無償化プログラム（高等教育版）」の枠組み（右表）に重ねれば、大学等修学支援法は低所得層限定の「A2：学費減免の拡充+B1：給付型奨学金の拡充」策といえる。コロナ禍での困窮学生の支援、学びの継続は、「B2：無利子学生ローンの改善」「B4：学内勤労奨学金等の拡充」「C1：学習費の支援」「C2：学生生活費の支援」に及ぶメニューを含んでおり、第203・204回に至っては「現金給付+現物給付」のテーマに論議を拡大させるまでになっている。

区分	小区分 / レベル	国	地方	法人	民間
A 学費	A1: 学費自体の軽減化				
	A2: 学費減免の拡充				
B 奨学金・ 学生ロー ン等	B1: 給付型奨学金の拡充				
	B2: 無利子学生ローンの改善				
	B3: 有利子学生ローンの縮減				
	B4: 学内勤労奨学金等の拡充				
C 修学支援	C1: 学習費の支援				
	C2: 学生生活費の支援				
D 就労支援・ 生活保障	D1: 就労支援				
	D2: 生活保障				

（謝辞：JSPS 科研費 19K02864 の助成を受けた）